

震度6強でほとんどのドアは開閉不能?!

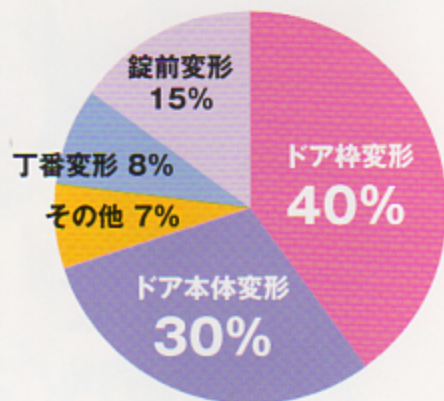


地震で歪んだドアの実例

災害時、マンションの玄関は避難口として重要な役割を担っています。しかし、地震が起きてしまうと、**震度5弱からドアが開閉不能になるものが出始め、震度6強ではほとんどのドアが開かなくなる恐れがあります。**それにより室内に閉じこめられてしまい、火災や津波などの二次災害に陥ることも十分におこります。ドアに鍵が掛けてあると17mm(層間変形角1/120)の歪みで、鍵と枠が当たり、鍵が回らなくなる場合があります(サムターンロック)。この場合、力を加えても開けることは困難になります。

阪神・淡路大震災におけるドア開閉不良の原因

(社団法人 日本サッシ協会資料より)



「アケルくん」は面内変形、局部変形共に開閉可能です。



「アケルくん」はドア枠変形、錠前変形、サムターンロックにも対応し、より少ない力でドアを開け、避難口を確保することができます。



ドアの上部・下部・戸先に「アケルくん」を装着します。



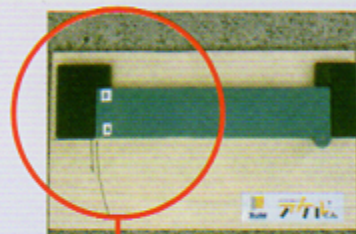
小さな力で開ける事が可能。「避難口の確保」



ドア枠が歪んでいるので開けたドアは閉まりません。

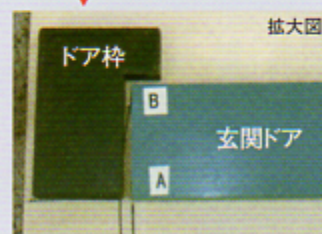
耐震ドアシステム「アケルくん」はドア枠が歪んでも何故開けられるの?

「アケルくん」未装着ドア

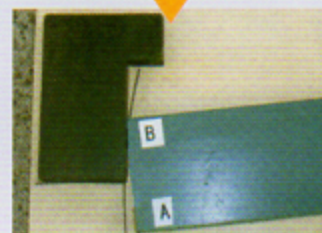


戸先側ドア枠が歪んだ状態。

ドア枠の歪みで開かない理由



ドア枠が歪んでいる為B点がぶつかりドアを開ける事が不可能。

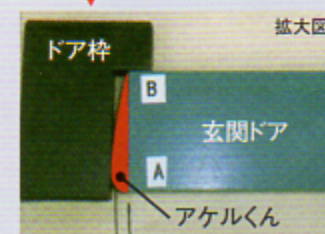


「アケルくん」装着ドア

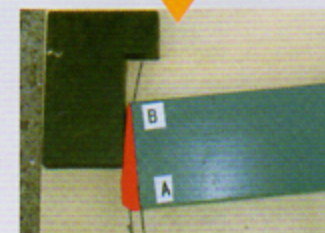


戸先側ドア枠が歪んだ状態。

ドア枠が歪んでも開けられる理由



「アケルくん」は、ドアを開ける時のB点の軌道を確認した形状の為、少ない力でドアを開ける事が可能。



アケルくん耐震ドアシステム



寸法：R部材(2本) 33mm×950mm×1.6mm
F部材(2本) 32mm×500(100)mm×0.5mm
材質：プラスチックポリカーボネート(PC) JISK6719-1

「アケルくん」を体感しませんか?

震度6強のドア枠の歪みを実演出来るデモカーで伺います。地震によるドア枠の局部変形の凄さを是非、ご体感下さい。



デモカーによる実演のご依頼は、お気軽にお問い合わせ下さい。